

ヨ コ エ ビ

Atylus swammerdami



種名

分類

ヨコエビ目ヨコエビ科

俗称

形態的な
特徴

体長約8～12mm。淡黄色ないし黄褐色。第1触角は体長の約3分の2。第2触角の下縁には多数の硬い毛が並んでおり、各胸脚の底節板は大きく発達する。尾節板は深く切れ込み、それぞれ先端に棘が1本ある。体は比較的繊細で、第4～第6腹節背縁にそれぞれ小棘群があり、近似の属と比べて頭部側葉が幅広く、円形で、第3尾肢の内肢が長く発達して鱗状を呈していないことにより特徴づけられる。

分布

日本全土に広く分布する。

繁殖行動

繁殖期：産卵は、春から夏にかけてと秋から冬にかけてとの2回あるらしい。産出された卵はメスの胸部腹面にある保育嚢に入れられて、孵化するまで保護される。
繁殖場所：湧水、細流、溪流の中など。
発生：天然の状態ではふつう1～3週間で孵化する。孵化した幼体は、成体とほぼ同じような形態を備えている。

生息場所

湧水、溪流などの水の澄んだところにすみ、水底の細砂の中、石や落葉の下などに体を横にして潜む。

食性

雑食性で、藻類のほか、腐った植物や動物の死体などにも群がる。

生息環境への
配慮事項

水質汚濁に対する配慮が必要である。

引用文献：川の生物図典を改変